

鈴木 明彦<sup>1</sup>: 北海道望来海岸への暖流系岩礁性巻貝レイシガイとイボニシの漂着  
 Akihiko SUZUKI<sup>1</sup>: Warm-water rocky-shore gastropods, *Thais bronni* and *T. clavigera*, washed ashore on Morai Coast, central Hokkaido

レイシガイ *Thais bronni* とイボニシ *Thais clavigera* は、アッキガイ科に属する小型の巻貝類である。どちらの種も西南北海道以南の岩礁潮間帯に生息するとされており(肥後・後藤 1993; 土屋 2000)、西南北海道周辺海域ではしばしば見られる種(波部・伊藤 1965; 伊藤 1987)である。今回2007年8月に中央北海道日本海側の望来海岸(図1)において、打ち上げられたレイシガイとイボニシを初めて採集したので、その概要を報告する。

望来海岸は、日本海に面した石狩市中部の望来～無煙に位置する。この付近はほぼ北北東に海岸線が連続する典型的な外洋性海岸である。海岸段丘を構成するのは新第三系の堆積岩類(望来層～当別層)で、それらは侵食され典型的な海食崖となる。これらの海食崖のあいだに、小規模な砂浜が見られ、地形学的にはポケットビーチに相当する。

採集したレイシガイとイボニシはいずれもそれぞれ1個体である。レイシガイ(図2右)は、殻頂から螺層部が破損している。体層はほぼ保存されており、その表面には4列の太い螺肋が認められる。さらに螺肋上には丸く大きな結節が見られる。また、殻口内部は黄橙色をなす。一方、イボニシ(図2左)は、ほぼ完全な貝殻で、保存状態が良い。レイシガイに類似するが、殻はやや細長い。殻表は黒褐色で、螺肋上の結節も小型である。また、殻口内部は黒色をなす。

2005年以降、北海道の石狩湾沿岸では暖流系生物の漂着が相次ぐようになった。それ以前は、打ち上げ貝類では寒流系種が卓越しており(鈴木 2003, 2005)、ごくまれにアオイガイが漂着する程度であった。近年漂着している暖流系生物は、ココヤシ、ギンカクラゲ、アカクラゲなどの南方系要素で、貝類においても従来見られなかった暖流系種が出現している。浮遊性貝類では、アオイガイ(鈴木 2006; 志賀 2007)の大量漂着や、2007年にルリガイ(鈴木・志賀 2008)の漂着が記録された。これはここ数年特に10月後半～11月前半にかけての日本海北部の高水温によるものと解釈されている。一方、底生貝類では2006年にトリガイの大量漂着(鈴木・志賀 2007)が認められた。これは冬季でも水温が従来ほど低下せず、トリガイのような底生種が石狩沿岸に定着したことを示している。

今回のレイシガイとイボニシの出現は、両者が岩礁潮間帯の生息種であることを考慮すると、通年にわたる表層水の温暖化に適應することにより、北上してその分布を拡大していると推定できる。岩礁潮間帯の貝類は生息域が限定されるため、海水温変動のモニタリングの指標にも活用されている(Barry et al 1995)。北海道沿岸のような冷水塊が卓越する北方海域では、特に暖流系貝類の出現に注目する必要があるだろう。

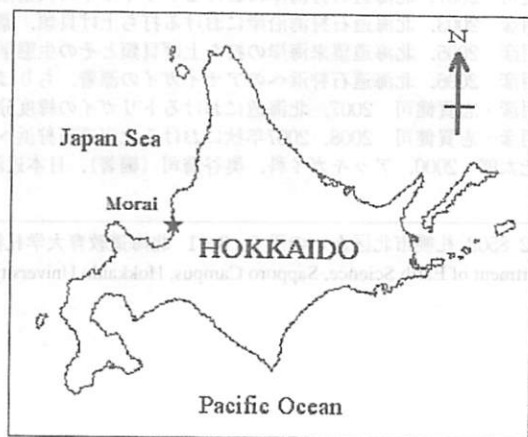


図1 北海道望来海岸の位置。



図2 望来海岸産レイシガイ(右)とイボニシ(左)。

#### 引用文献

- Barry, J. P., Baxter, C. H., Sagarin, R. D. and Gilman, S. E. 1995. Climate-related, long-term faunal changes in a California rocky intertidal community. *Science* 267: 672-675.

- 波部忠重・伊藤 潔 1975. 原色世界貝類図鑑 (北太平洋編). 195pp. 保育社, 大阪.
- 肥後俊一・後藤芳央 1993. 日本及び周辺地域産軟体動物総目録. 693pp. エル貝類出版局, 八尾.
- 伊藤 潔 1987. 無脊椎動物. 小樽市博物館 (編). 小樽海岸の自然 (海産) 調査報告書. pp.19-115. 小樽市博物館, 小樽.
- 志賀健司 2007. 北海道石狩湾岸におけるアオイガイの大量漂着. 漂着物学会誌 5 : 39-44.
- 鈴木明彦 2003. 北海道石狩湾沿岸における打ち上げ貝類. 漂着物学会誌 1 : 7-12.
- 鈴木明彦 2005. 北海道望来海岸の打ち上げ貝類とその生態学的意義. 環境教育研究 8 : 27-34.
- 鈴木明彦 2006. 北海道石狩浜へのアオイガイの漂着. ちりぼたん 37 : 17-20.
- 鈴木明彦・志賀健司 2007. 北海道におけるトリガイの緯度分布と地質記録. ちりぼたん 38 : 116-121.
- 鈴木明彦・志賀健司 2008. 2007年秋における北海道石狩浜へのルリガイの漂着. ちりぼたん 39 : 22-24.
- 土屋光太郎 2000. アッキガイ科. 奥谷喬司 (編著). 日本近海産貝類図鑑. pp.365-421. 東海大学出版会, 東京.

(Received Aug. 19, 2008; accepted Sept. 7, 2008)

---

<sup>1</sup> 〒002-8502 札幌市北区あいの里 5-3-1 北海道教育大学札幌校地学研究室

<sup>1</sup> Department of Earth Science, Sapporo Campus, Hokkaido University of Education, Ainosato 5-3-1, Sapporo 002-8502, Japan